

税理士が教える

若手社員・管理職のための

自社の成長につなげるビジネスナビ

(会社の利益と数字のはなし)

会社は、ゆるぎない理念を持ちつつも時代に応じて変化し続けなければ生き残れません。トレンドの移り変わりが早い昨今においては、会社の数字を単に申告のためだけに使うのではなく、より経営に活かしていく必要があります。

会社の利益は社員全員で稼いでいくもの。社員全員が数字に強くなれば会社は安定して成長することができます。数字は、過去、現在の状況を把握するために使いますが、数字に強くなれば未来を予測することにも使えます。

この研修では、会社の数字の基礎的な部分の理解から数字をどのようにつかって経営に活かし未来を予測するかを重点的に学びます。

■研修の目的

1. 数字を会社の共通言語にできる。
2. 腹落ちした目標値を設定することで、
社員全員一丸となって目標達成に取り組むことができる。
3. 社員が数字を意識して働くことで成果につながり、成功体験を
とおしてやりがいを感じる。

■対象者

会社の若手社員・管理職

■概要

- ・ 時間 1 2 時間（6 時間×2 日）
- ・ 料金 8 0 万円で5名まで（1人追加 + 1 0 万円）

	【1日目】
10:00	個人の利益（財布）の概念と会社の利益（財布）の概念を理解する <ul style="list-style-type: none">・ 会社の利益はなぜ必要か、なぜ重要かを個人の財布にみたてて理解する。・ 利益を出すために何が必要かを個人の財布から考える。
11:00	決算書（PL）を構成する売上（収益）や費用（コスト）について理解する <ul style="list-style-type: none">・ 実生活や現場での事例を通して収益とコストの関係を理解する・ 収益とコストが利益にどのように関連しているか例示を示し理解する
12:00	昼休憩
13:00	費用（コスト）を分析する <ul style="list-style-type: none">・ 変動費と固定費の基本的な定義と違いを説明・ 固定分解が必要な理由
14:00	決算書の構成要素を未来会計図に変換する <ul style="list-style-type: none">・ 業種を問わず、会社の数字を簡単な未来会計図に落とし込む演習を行う
15:00	未来会計図のどの部分をどのようにすれば利益が出るかを考える <ul style="list-style-type: none">・ 利益に影響を及ぼす4つの構成要素について
16:00	本日の研修の実務への応用 <ul style="list-style-type: none">・ 現場において本日の研修がどのように取り入れられ役立てられているか

	【2日目】
10:00	<p>利益に影響を及ぼす4つの構成要素を使い、シミュレーションができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修で最も重要な内容です。 ・例題を解きながら考え方を説明
11:00	<p>固定費が増加した場合の利益に与える影響のシミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を未来会計図に変換できるか（前日の復習） ・固定費がいくら増加したら赤字になるかの計算ができるか
12:00	<p>昼休憩</p>
13:00	<p>変動費が増加した場合の利益に与える影響をシミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変動費がいくら増加したら赤字になるかの計算ができるか
14:00	<p>売上高が利益に与える影響をシミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高の構成要素を考える ・数が増えた場合のシミュレーション
15:00	<p>売上高が利益に与える影響をシミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価を上げた場合のシミュレーション ・値下げした場合のシミュレーション
16:00	<p>本日のまとめと質問対応</p> <p>数字で考えることのメリットを振り返る</p> <p>数字を意識しすぎることのデメリットと数字遊びにならないため重要なこと</p>